

2025年度 日本工学院八王子専門学校											
柔道整復科											
病理学 4 (各論)											
対象	3年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	15	単位	1
担当教員	岡本純佳			実務 経験	有	職種	医師				
授業概要											
各疾病の特徴を学びます。											
到達目標											
病理学は、病気で異常になった部位（病変部）を目で見て（肉眼的観察）、顕微鏡でさらに詳しく見て（顕微鏡的観察）、どのような変化があるのか、どのような状態なのか、原因は何か、などを論理的に読み解いていく学問である。病理学を学ぶことで医療現場における施術の土台を形成することを目標にしている。											
授業方法											
教科書を中心とする。病理学を学ぶ目的の一つとして、生体に起こる色々な病変や疾患が、どんな原因で起こり（病因）、どんな変化を生じ（病変または疾患）、どのように推移し（経過）、最後にどうなるのか（転帰）などの、いわゆる病変や疾患の本質をよく理解することが大切である。											
成績評価方法											
試験と課題を総合的に評価する。											
履修上の注意											
国民の健康に寄与する医療人の育成であることを重視する。全授業の出席を原則とする。正当な理由なき欠席・遅刻・早退は認めない。また、授業中の態度（私語・飲食・居眠り）には厳しく対応する。常に医療現場にて患者に適切な応対ができるマナーを身につけるような心掛けを求める。なお、授業時数の4分の1以上欠席した者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
教科書は「病理学概論」を持参する。その項目ごとに資料を配布する。											
回数	授業計画										
第1回	先天性異常（総論）										
第2回	先天性異常（奇形の原因）										
第3回	先天性異常（奇形成立の時期）										

第4回	先天性異常（奇形の種類）
第5回	病因（病因の一般）
第6回	病因（内因）
第7回	病因（外因）
第8回	前半振り返りと確認演習
第9回	運動器の病理①
第10回	運動器の病理②
第11回	運動器の病理③
第12回	運動器の病理④
第13回	運動器の病理⑤
第14回	後半振り返りと確認演習
第15回	まとめ